

平成22年度事業計画の決定について

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

平成22年は、国連が定めた「国際生物多様性年」であり、10月には「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」が名古屋市で開催されることとあいまって生物多様性保全および環境保全への取り組みは、世界各国で一層強化されていくことは確実と思われま

す。当会は、我が国経済の現状とゴルフ界を取り巻く厳しい経営環境を踏まえつつ、ゴルファーによる緑化・環境保全活動の一層の拡大を図り、「緑豊かな国土」・「自然と共生する社会」の実現に努めます。特に今年は、「生物多様性保全」の面から『豊かな生物多様性を持つゴルフ場』の調査研究を基に、里山の条件を備えたゴルフ場の実態のPRに力を入れるとともに、「CO₂の削減」・「資源循環型社会の構築」など、ゴルフとゴルフ場のもつ社会的意義を広く周知してまいります。

また、弊会の活動内容をゴルフ場、ゴルファーの方々をはじめ多くの方々にご理解・ご支援を賜わるべく引続き広報活動を充実してまいります。

なお、公益法人制度改革に関しましては、「公益社団法人」への移行認定を申請するための準備を進めて参ります。

関係各位の一層のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

1. 会員ゴルフ場の維持・拡大

当会としては、ご協力戴いている会員ゴルフ場の維持・継続を最重点に据え、今まで以上に会員ゴルフ場とのコミュニケーションを図り、関係を密にするよう努めることとします。

また、新規ゴルフ場の入会促進につきましても多くの方々のご協力を得つつあらゆる接点を活用し、的を絞った活動を進めます。

更に、今年1月にスタートした『会員ゴルフ場弔慰金制度』の実施成果を踏まえつつ、内容を再吟味し継続を検討して参ります。ゴルファーの顕彰制度の充実、ゴルフ・ゴルフ場のはたす環境・健康など社会的役割の訴求、会員ゴルフ場と地域社会との良好な協調関係構築の支援、会員ゴルフ場・ゴルファーの社会貢献活動のPRなどを実施し、会員の維持・拡大に努めてまいります。

併せて、環境省はじめ関係省庁・各県等に側面からのご支援を引続きお願いすることとし、大臣・県知事等による会員ゴルフ場の社会貢献活動に対する顕彰の実施・拡大を実現して参ります。

(平成22年4月、くずはゴルフ場が自然環境功労者環境大臣表彰を受賞)

2. 事業活動

(1) 事業活動の収支規模

会員ゴルフ場の休・退会等に伴う緑化協力金の減少に歯止めをかけ増加させるべく会員の維持・拡大に努めるとともに、協賛企業やグリーン&エコ支援「熱烈ゴルファー」の一層の拡大などに取組むこととし、平成 22 年度事業活動の収入規模は、前年実績同等の 175 百万円をもって計画します。

また、事業活動の支出については、以下の (2)、(3) に示す緑化事業に必要な支出を計画することとし、200 百万円をもって計画します。

(2) 地方緑化事業

地方緑化事業については、(社) 国土緑化推進機構のご支援並びに各県緑化推進委員会、(財) 河川環境管理財団、国立公園協会などのご協力を得ながら、引き続き学校など社会公共施設への植樹を中心に効果的・効率的な環境の美化・緑化・保全事業を展開します。

(3) 全国緑化事業

これまでの先駆的な事業に加え、目に見える・わかり易い・話題性のある環境緑化・環境保全活動を目指し、次表のような事業を計画します。

3. その他

“ゴルファーの善意による緑化活動”の意義と活動の実態について、全国のゴルファーの方々はもとより、一般の方々にもご理解を深めて頂くため、機関誌『緑の通信』の発行、「ホームページ」の充実、TV・雑誌等媒体の利用など、各種の機会をとらえ事業周知や広報活動を充実して参ります。

また、厳しい事業環境を十分勘案し、事業の実施にあたっては引続き一層の効率化に努めることとします。

平成22年度全国緑化事業

実施事項	内 容
緑化事業・特別事業	
①松枯れ対策 松くい虫防除の研究助成 抵抗性松苗木の配布	東大千葉演習林の抵抗性松苗木の研究助成 公共的な場所・ゴルフ場等への配布。
②校庭の芝生化	児童向け小冊子「芝生キッズくらぶハンドブック」を配布、普及啓発を図る。
③生物多様性の保全 絶滅危惧種の救済事業	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種「ヒメバラモミ」（中部山岳地区）の増殖・復元を助成。今年度で終了。 ・「ヤクタネゴヨウ、ヒメバラモミ増殖・復元事業の記録」の発行。 ・生物多様性国際シンポジウムを協賛。
④「環境と人にやさしいゴルフとゴルフ場」の紹介	環境と健康などゴルフの社会性と意義を研究、 当会ホームページ、ゴルフ雑誌で紹介。 2年間掲載した記事の集大成を出版。
⑤木材腐朽病害対策現地検討会の実施	現地検討会を継続実施、技術の普及啓発を図る。
⑥ゴルフ場の生物多様性調査	ゴルフ場の生物生息状況を専門家による現地調査等により深め、これを基にゴルフ場管理マニュアルを作成。COP10 関連イベントなどに出展協力し、周知を図る。
⑦緑化貢献の顕彰	『緑化貢献大賞』、『永年緑化貢献「エージシューート大賞」』を実施。
⑧その他新規緑化施策	緑化委員会等で提案される新規緑化事業。
賛助事業	
⑩自然公園内の環境 NGO の助成	公益信託・自然保護ボランティアファンドを通じての助成。
⑪その他の環境 NGO 支援	「WWF ジャパン」など環境保護団体への支援。
⑫各種緑化行事への協賛等	環境省、林野庁、都道府県等が主催する各種緑化・環境関連行事への協賛。 民間の環境事業「ロハスフェスタ」への協賛。 ゴルフ界活性化活動への積極的参加・協力。